

# きたかみの水環境

北上川、和賀川をはじめ、わき水や地下水など、豊富な水が存在する北上市。私たちは豊かな水環境の恩恵を受けています。生活に密接する水の安全性や生活環境の保全などのため、市では水質調査を毎年実施。今回は、生活に欠かせない水道水と、生活排水の影響を受ける中小河川の23年度測定結果をお知らせします。

## わが家の水道水の水源地はどこ？

家庭に届けられる水道水は住む地域によって水源が異なります。ご自宅の水道水がどこの水源なのか、おおよそ下の系統図のようになっています。



## 主な基準項目の水質検査結果 -平成23年度平均値-

番号	項目	基準値	単位	測定結果				備考
				北上川浄水場系給水栓	江釣子浄水場系給水栓	岩手中部浄水場系給水栓	仙人配水池系給水栓	
1	一般細菌	100以下	個/ml	0	0	0	0	病原生物
2	大腸菌	不検出	-	不検出	不検出	不検出	不検出	
6	鉛およびその化合物	0.01以下	mg/l	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	重金属
10	硝・亜硝酸態窒素	10以下	〃	0.92	1.31	0.14	0.18	無機物質
12	ホウ素およびその化合物	1.0以下	〃	0.04	0.01	0.49	0.01未満	
26	総トリハロメタン	0.1以下	〃	0.019	0.010未満	0.010未満	0.010未満	消毒副生成物
31	亜鉛およびその化合物	1.0以下	〃	0.007	0.007	0.010	0.005	色
32	アルミニウムおよびその化合物	0.2以下	〃	0.022	0.005	0.012	0.01	
33	鉄およびその化合物	0.3以下	〃	0.023	0.006	0.006	0.013	
34	銅およびその化合物	1.0以下	〃	0.011	0.02	0.016	0.004	
35	ナトリウムおよびその化合物	200以下	〃	10.0	27.7	23.1	5.9	味 覚
36	マンガンおよびその化合物	0.05以下	〃	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満	色
37	塩化物イオン	200以下	〃	12.2	9.1	35.1	5.9	味 覚
38	硬度	300以下	〃	40.8	43	70.3	33.9	
39	蒸発残留物	500以下	〃	94	130	178	59	
45	有機物(TOC)	3以下	〃	0.7	0.3未満	0.4	0.3未満	基礎的性状
46	pH値	5.8~8.6	-	7.6	7.5	7.1	7.8	
47	味	異常でない	-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
48	臭気	異常でない	-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
49	色度	5以下	度	1未満	1未満	1未満	1未満	
50	濁度	2以下	〃	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	

安全な水道水をお届けします  
水道水の水質調査結果  
北上川浄水場 ☎66-3231

水道の蛇口給水栓から出る水は、水道法により50の検査項目が定められています。23年度の検査結果は、すべての基準に適合しています。

※番号のない項目は、基準値と比較して検出濃度が低かった項目のため、掲載を省略しています。  
※全項目の検査結果は、市ホームページ、和賀庁舎2階上水道課、市立図書館で閲覧できます。

## ●水道水の放射性物質測定結果

県では、昨年3月から水道水の放射性物質について毎日測定しています。これまでの結果については安全性に問題のないレベルとなっています。

市でも、昨年6月から水道水について、放射性セシウム、放射性ヨウ素を毎月測定しています。また、水道水を作る過程で発生する汚泥の測定や汚泥のストックヤード周りの空間線量の測定を実施していますが、水道水、汚泥ともに安全性に問題のないレベルとなっています。なお、各項目の測定結果は市のホームページ、和賀庁舎2階上水道課、市立図書館で閲覧できます。

## ●蛇口から赤い水、濁り水が出てきた場合

漏水や火災時の消火栓使用などで、水道管の中を流れる水の速さや方向が急激に変わった場合、水道管内部のさびが、はく離して赤い水や濁った水が出てくる場合があります。赤い水が出た時はしばらく水を流し、きれいになってから飲用するようお願いいたします。30分程度流しても解消されない場合は排水・洗管作業を行いますので、上水道課(内線52125219)へご連絡ください。配水管が原因の赤水の場合、きれいになるまで流した水量は減免の対象となる場合がありますので、上水道課へご連絡ください。

# 中小河川の水質調査結果

生活環境課 内線 3423

## 用語説明

### ※1 BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が微生物の働きによって分解される際に消費される酸素量。この数値が大きいほど水中に有機汚濁物質が多く、水質汚濁が進んでいることを意味します。

### ※2 類型

類型は、河川、湖沼および海域別に利水目的に応じて指定されている区分をいいます。各類型ごとに環境基準が定められています。市内では北上川(A)、和賀川(A・AA)、飯豊川(A)、夏油川(AA)が類型指定されており、それ以外の河川は指定されていませんが、参考のために照らし合わせています。

### ※3 環境基準

人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、政府が定める行政目標。環境基本法で大気、水質汚染などに係る環境上の条件について定めることとされています。

水の汚れを示す代表的な指標であるBOD値(年平均値)

市は、家庭から排出される生活雑排水などの影響による河川の水質状況を監視するため、市内19中小河川の水質測定を毎年行っています。調査項目は河川によって異なりますが、主に生活に関連するpHやBODなどで、上流地域に事業所がある場合にはカドミウムやヒ素などの値も調査します。

表1は、採水地点19地点のうち17地点でA類型に値する環境基準を満たしている、きれいな水質を保っています。黒沢川と大曲水路のBOD値(平均値)表2の経年変化を見ても分かるように、下水道などの整備に伴い河川水質は全体的に改善され、近年は一定の水質を保っています。

口内川は畜産排水が原因と思われる水質悪化が見られます。原因改善に努めると共に、今後も継続的に水質調査を進めていきます。また、噴土水路

は、上流域の下水道整備で汚染の要因の一つであった家庭雑排水の流入が無くなり、以前より水質が改善されてきていますが、依然としてB類型に値する数値であるため、他の要因も含め調査を行っていきます。

## 河川の汚れ具合の指標

(BODの類型別環境基準)

類型	BOD(mg/ℓ)	指標
AA	1.0以下	かなりきれい
A	2.0以下	きれい
B	3.0以下	少し汚れている
C	5.0以下	かなり汚れている
D	8.0以下	非常に汚れている
E	10.0以下	

なお、カドミウムなど「人の健康の保護に関する項目」についても、測定した全ての地点で環境基準以下となっています。

よりよい水質を維持するために、各家庭での生活排水対策のほか、下水道や合併処理浄化槽などを利用しましょう。特に下水道利用可能区域で未接続の人は、速やかに接続し水洗化に努めましょう。皆さんのご協力をお願いします。

表1 平成23年度の中小河川の水質調査結果(BOD値(年平均値))

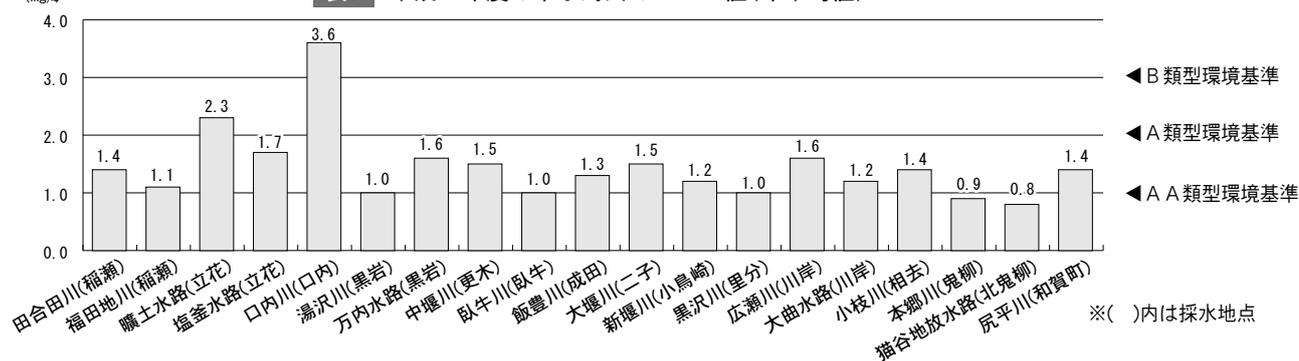


表2 BOD平均値の経年変化

